

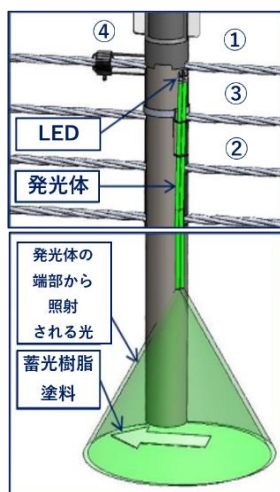
# ワイヤロープ式防護柵 支柱設置型視線誘導標

発光体による支柱の注意喚起、夜間の視認性を向上

安全設備



## 発光の原理



## 取付方法

- ①太陽電池とLEDが組み込まれたゴムキャップを、支柱上部に差し込みます。
- ②取付金具を支柱のリングに取り付けます。
- ③発光体をLEDに差し込みます。
- ④ワイヤロープに接続部品を取り付け、ゴム線で接続部分とゴムキャップを接続します。

## 夜間発光状況



## 本製品の特特徴

- 1 発光体の端部からLEDを当てて発光体全体が光ります。LED光を直視しないため、グレアの障害が無く、ブルーライトによる人体への影響はありません。目にやさしい光を発します。
- 2 発光体の下端部から地面に向けて光が照査されるため、周辺も光ります。発光体下部周辺に蓄光樹脂塗料を塗布することで、さらに発光効果も得られます。
- 3 発光体には直径φ8mmの導光樹脂線を2本使用し、高輝度発光を実施します。
- 4 ゴムキャップは支柱に差し込んでいただけなので、車両が衝突した時はすぐに外れます。このため防護柵の性能に影響はありません。また、ワイヤロープに接続部品を取り付け、これとゴムキャップをゴム線で接続しているため、車両が衝突してもゴムキャップは飛散せず、二次災害を引き起こしません。
- 5 電源は両面受光型太陽電池を使用しており、積雪が積もりにくく、最大12時間点滅発光します。
- 6 既設の支柱に簡単に取付が可能です。



製品一覧

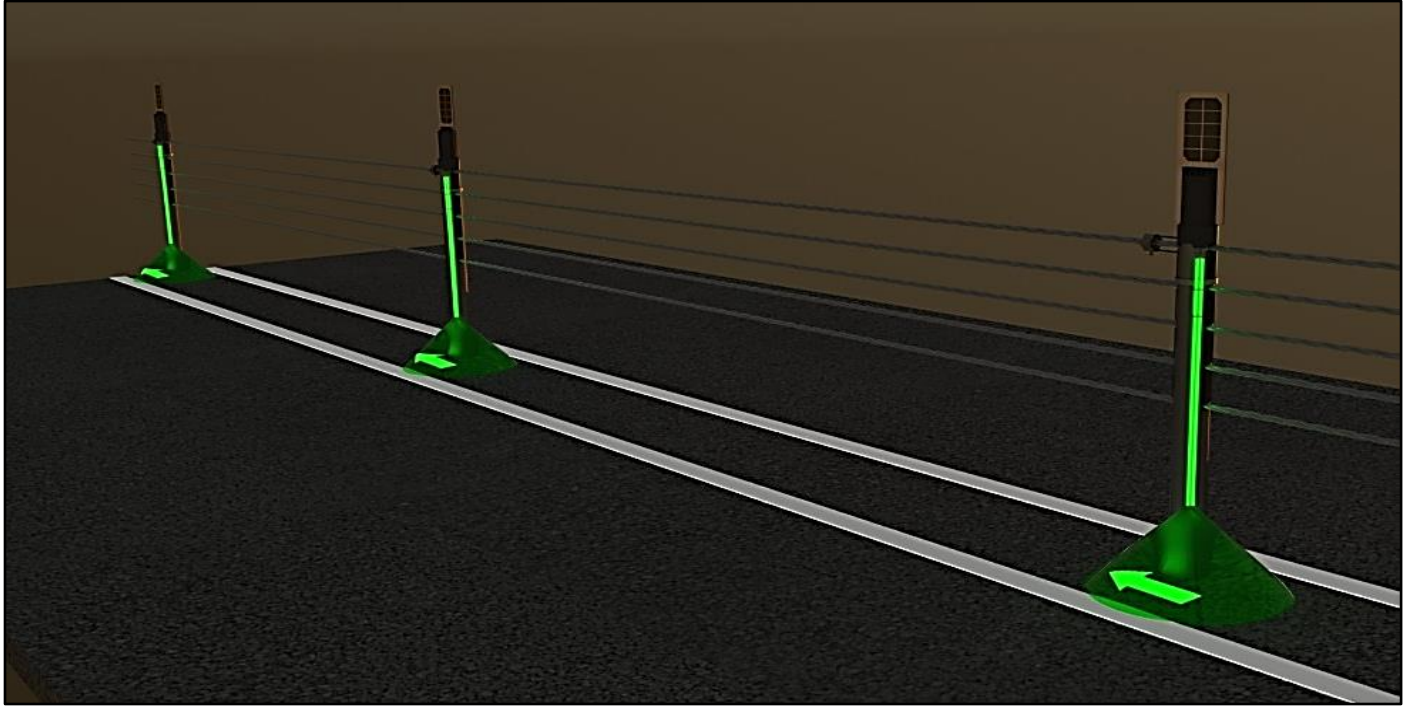
西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社

みち、ひと…未来へ。

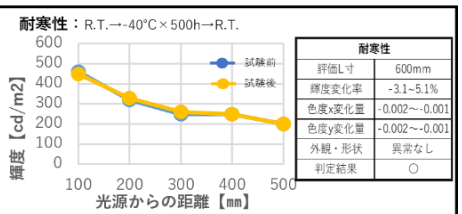
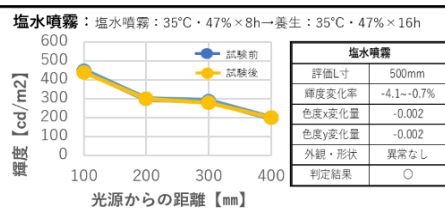
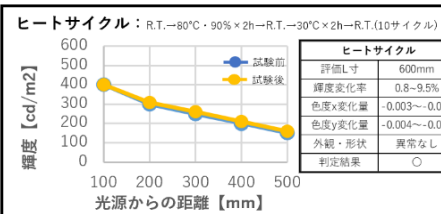


# 製品概要

## 設置イメージ



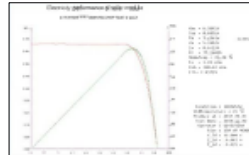
## 発光体性能試験



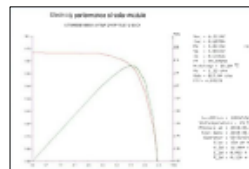
## 太陽電池鋼球落下により衝撃試験



### 鋼球落下前 発電性能



### 鋼球落下後 発電性能



### 試験条件

- ・鋼球質量：1.7kg
- ・鋼球直径：75mm
- ・落下高さ：1.0m
- ・衝撃時鋼球速度：4.427m/s (15.937km/h)
- ・衝撃力：16.66J

### 試験結果：

外観と発電性能に変化はありません。

## 仕様

項目	仕様
太陽電池モジュール	両面受光型太陽電池セル使用(定格電圧5V、定格出力3.15W)
LED	2個(発行体1本につき1個使用) 標準発光色：緑 (その他の色も対応可能)
発光体	直径φ8mm、材質：コア部 アクリル系樹脂、クラッド部 フッ素系樹脂
バッテリー	リチウムイオンバッテリー
動作	点滅同期制御：電波時計方式、点灯時間：12時間点滅(バッテリー満充電時に3日間無日照対応) 点滅間隔：点灯/消灯=0.5s/0.5s

